

図書館だより 1月号

大阪府立都島第二工業高等学校
大阪府立都島工業高等学校（定時制の課程）
2023年1月13日
情報図書部

新年あけましておめでとうございます。令和の時代も5年目に入りました。今年こそはと想いを新たにした人もいると思います。昨年は、初めてのことが多くあり、戸惑ったりなれない状況に失敗したりもしたかもしれません。それでも皆さんは、ここまでその状況乗り越えて新しい年を迎えました。今、今年こそはと思ったことを1年間継続し、次に続けてください。そして、年度末に向けて、学校生活の充実を目標に頑張ってみてください。

新刊紹介

たとえ読んだことはなくとも、誰もが知っている「シャーロック・ホームズ」。1887年の『緋色の研究』から始まり長編4編・短編56編の60編が発表され、今なお1つの推理小説のジャンルとして発行され続けているシリーズ本。日本は英語圏以外で最も早くホームズ物が紹介された国の1つで、明治から令和にかけて百数十年もの間、発行されています。今なお「ホームジアン」とか「シャーロキアン」と呼ばれる熱狂的なファンが世界中に存在し、書籍だけではなく映画やドラマ、アニメなどでも繰り返し扱われています。

「シャーロック・ホームズの冒険」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933コ】
「赤髪組合」「まだらの紐」など全10編を収めた短編集。奇怪な事件や意表を突く事件、軽妙なユーモアがあふれる作品集。

「シャーロック・ホームズの帰還」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933ド】
「踊る人形」「六つのナポレオン」など全10編を収めた短編集。「最後の事件」でホームズ物語を終了しようとしたコナン・ドイルが読者からの強い要望により、滝壺に転落死したはずのホームズを“帰還”させた第一の事件「空家の冒険」をはじめ読者を魅了する作品集。

「シャーロック・ホームズの思い出」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933ド】
「白銀号事件」「黄いろい顔」など全10編を収めた短編集。探偵を生涯の仕事と決める「グロリア・スコット号」事件、宿敵モリアーティ教授との決死の対決「最後の事件」を収めた作品集。

「シャーロック・ホームズの事件簿」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933ド】
「マザリンの宝石」「三人ガリデブ」など全10編を収めた短編集。知的な風貌の裏側におそるべき残忍さを秘めたグルーナ男爵との対決を描く「高名な依頼人」など難事件を収めた作品集。

「緋色の研究」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933コ】
コナン・ドイルの発表した最初のホームズ物。ワトスンとの出会いから始まる最初の長編本でホームズの容姿や性格、人となりなどが記されている。

「四つの署名」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933コ】
インド王族の宝石箱の秘密を知る帰還少佐の遺児。この数年、決まった日に高価な真珠が送られてくるという……。ホームズたちが真珠の所有者を探し当てたとき、この男は殺され、そこには“四つの署名”が。ホームズ物語の長編2作目。

「バスカヴィル家の犬」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933ド】
爛々と光る眼、全身が青い炎で包まれているという魔の犬。恐怖に彩られた伝説の謎を追うホームズ。舞台となる特殊地帯を一種の密室のように仕上げ、息詰まるばかりの緊張を呼ぶ。

「恐怖の谷」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933ド】
事件の概要と解決に至るまでのホームズの推理を描いた第一部と、事件の背景となった「恐怖の谷」と呼ばれるアメリカの炭鉱街での事件を記した第二部の2部構成となっているシリーズ最後の長編本。

「シャーロック・ホームズ最後の挨拶」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933ド】
「ウイステリア荘」「悪魔の足」など全8編を収めた短編集。引退して悠々自適のホームズがドイツのスパイ逮捕に協力する異色作「最後の挨拶」などを収めた作品集。

「シャーロック・ホームズの叢知」 コナン・ドイル 著 延原 謙 訳 【933ド】
「技師の親指」「緑柱石の宝冠」など全8編を収めた短編集。婚約破棄された昔の恋人の息子を陥れる執念深い男の話「ノーウッドの建築士」などを収めた作品集。